

1. 計画のコンセプト

(1) 未来の松山に「夢が広がる計画」

予測が難しい時代では、実現したい未来像から逆算して何をすべきかを考える「バックキャスト」が有効。
まずは、市民と共に「夢のある未来」、「ワクワクする未来」を描いた上で、それを叶えるための方策を検討する。

(2) 市民の視点に立った「わかりやすい計画」

これまで別に策定していた「松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一本化するとともに、文章表現や冊子の見せ方を工夫するなど、市民にわかりやすく、伝わりやすい計画を目指す。

(3) 市民が関わり、行動したくなる「みんなで目指す計画」

総合計画で描く未来ビジョンは、行政だけで実現できるものではない。
策定時のアンケート調査や対話の機会の充実に加え、計画に行動目標を設定するなど、市民と一緒に推進できる計画を目指す。

(4) 困難や変化にも対応できる「しなやかな計画」

様々な脅威にさらされ、変化の激しい時代では、状況や変化に即応できる柔軟性とスピードが求められる。
大きな目標をしっかりと見据えながら、具体的な取組や数値目標は、外部の評価も踏まえて柔軟に変更できるようにする。

(5) メインターゲットが「松山を選びたくなる計画」

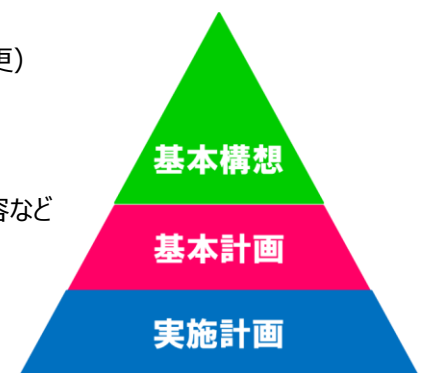
人口が減少し、地方創生の重要性が高まる中、複数の課題を同時解決できる分野横断的な取組や、メインターゲットに響く戦略的な取組が求められる。
次代を担う若者をはじめ、県外の在住者や企業が、「住みたい」「投資したい」と思えるような重点施策を検討する。

2. 計画の構成・期間

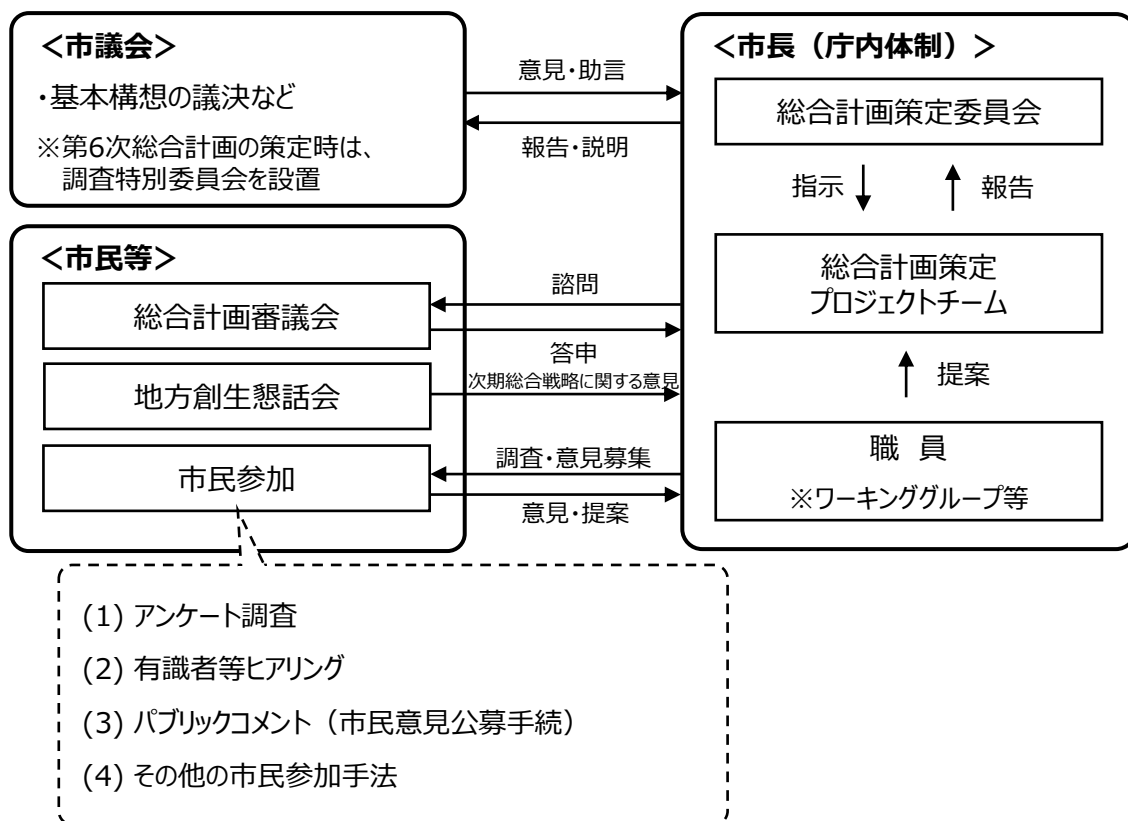
- (1) 基本構想 ……総合的かつ計画的な行政の運営を図るために定める基本的な構想
⇒将来都市像やまちづくりの理念、基本目標など
【期間】概ね10年（20～30年程度先を見据えて検討）

- (2) 基本計画 ……基本構想を実現するための施策の内容を体系的に示す計画
⇒重点施策や分野別施策、総合戦略など
※具体的取組やKPIは別冊で管理（必要に応じて変更）
【期間】前期5年、後期5年

- (3) 実施計画 ……基本計画で定めた施策を推進する事業を示す計画
⇒重点的取組事業や主要事業、総合戦略事業の内容など
【期間】3年（ローリング方式で毎年見直し）

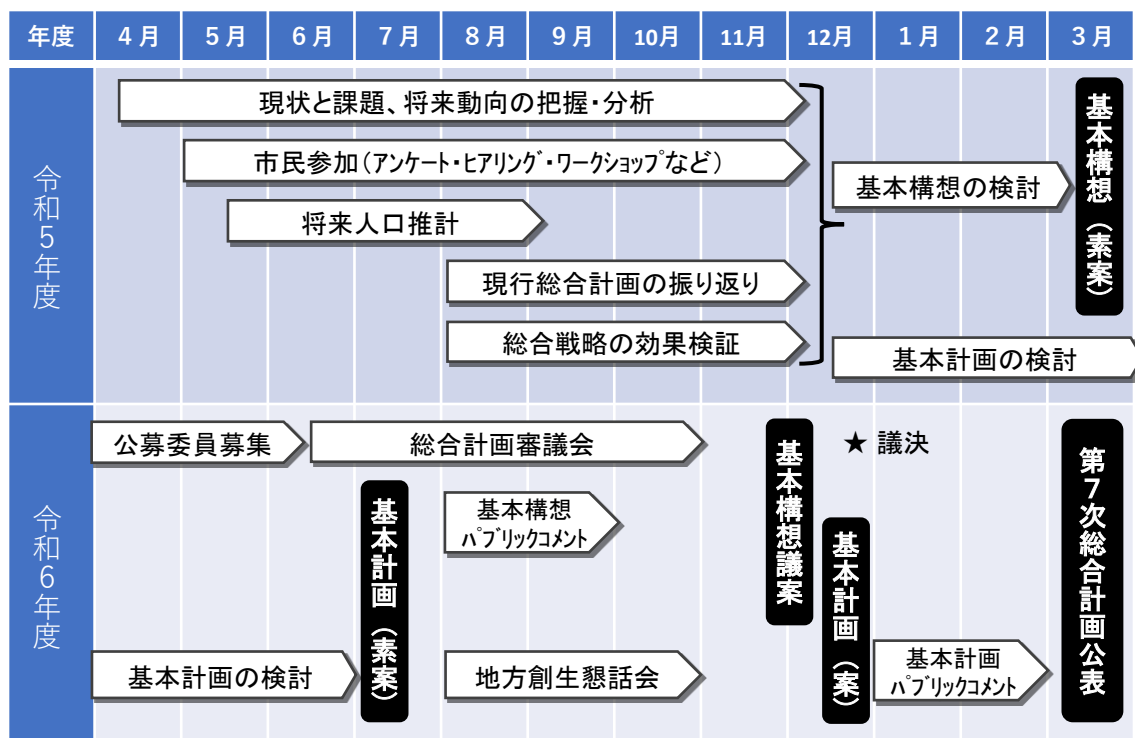


3. 計画の策定体制



4. 策定スケジュール

※市議会には随時、報告・説明を行い、ご意見を伺う。



【注意】 この資料の内容は、現時点での想定であり、受託者の提案や本市での議論等により変更する場合がある。